

## みんなが知ってそうで知らないこと

役に立つのかわからなくても、いざ知ってみると、興味深い雑学だったり、面白いと思う雑学だったりするんです。

今回は、そんなたくさんある雑学の中でも、みんなが知ってるようで知らない、人に話したくなるような雑学や豆知識を、10個ご紹介しまーす！！

建築用語

免震(構造)(めんしんこうぞう)

その1: ガリガリ君



みんな大好きガリガリ君。安いし、当たりが出ればもう一本という夢の様なアイス。**実は当たりの確率は4%なのです。**

その2: 東京駅



多くの人が集まる東京駅。**1日で2億6千万円も稼ぐ**のだそうです。ちなみに新宿駅は1日に1億6千万円だということ。

その3: 競馬



競馬中継で、ゲートが開く「ガシャン」という音はスタートの合図としては本当に気持ちが良いものです。しかし実はあれ生音ではなくて**音声がタイミングを合わせて出している効果音**なのです。

その4: じゃんけん



地域によっては異なるかもしれませんが一般的にじゃんけんの合図は「**最初はグー**」ですよね。実は**発案者は志村けんさん**なのです。

その5: シャアザク



シャアザクの色が何故ピンク色なのか疑問に感じていた人も多いかもしれませんね。実は制作していたサンライズに**当時ピンクの絵の具が大量に余っていたためピンク色**なのだそう。

その6: ディズニーランド



千葉県浦安市にあるディズニーランド。しかし**過去にはもうひとつディズニーランドが存在**をしていて日本橋三越の屋上に**期間限定であった**ということ。クオリティも高く、シンデレラ城からメリーゴーランドまで本格的だったみたいですね。



季節のお手入れ

外部の塗装に最適な季節です。

## モダン襖紙「華り」



華りの由来。～はんなり～(京ことば)  
上品で落ち着きがあり 明るさ 華やかさ 陽気さも併せもつ様を表す言葉。

その7: トイザラス



数年前まで、トイザラスのCMでは「**子どもでいたい、ずっとトイザラスキッズ**」といったものが流れていましたが、今では見る事ができません。これは**近年ニートやひきこもりが増加傾向にある**ということで**放送中止**になってしまったようです。

7月の呼び名は、文月(ふみづき)です

七夕の短冊に歌などを書いて、書道の上達を願った行事にちなんで「文披月(ふみひらづき)」が「文月」となっていると言われています。

しかし、七夕は奈良時代に中国から伝わってきたものです。時代が合わないという意見から、稲穂が少しずつ膨らみ始める時期を意味する「穂含み月」「穂見月」が由来とも言われています。

その8: マルボロ



懐かしのマルボロのカウボーイ。様になっていてカッコいいですが**実はこのマルボロの看板カウボーイは肺がんで亡くなってしまった**ということ。ある意味、意味がわかると怖い話ですね。

その9: 花沢さん



サザエさんでは欠かせない登場人物の**花沢さん**。あれだけ存在感が濃く、カツオとは中島くん同様にセットな存在でもありますが**原作では登場しないキャラクター**なのです。ちなみに、**カオリちゃん、リカちゃん、サブちゃんから穴子さんまでいない**ということも。ほとんどがアニメオリジナルだという衝撃の事実です。

その10: 雑学だけあっても



**雑学がある = 博識である = 頼りがいがある = 人気者**というのは事実ではありますが雑学だけ知っていればモテるわけはありません。**雑学でモテるには雑学以外の要素も必要**だということです

地震力に強い構造をもつて耐えようという耐震にたいして、地震力を抑制する「免震」といって、構造物の破壊を防止する「免震」を意味する構造設計の概念を免震という。

電話・FAX・メールにてお気軽に資料請求してください( ^ - ^ ) 「モダン襖紙 華り」

FAXの場合はお名前とご住所記入の上、このままFAXしてください。 お名前   
ご住所